

16年度予算における新たな手法の導入について

平成15年7月31日

牛尾治朗
奥田碩
本間正明
吉川洋

16年度予算で新たに導入する「政策群」と「モデル事業」は、歳出の質的転換に向けた起爆剤である。各府省及び財務省は、積極的に取り組み、国民に対して目に見える成果を出していくべきである。

1. 政策群の推進について

「政策群」は次の効果が期待される手法である。

予算を梃子に制度改革・規制改革を進めることで、構造改革と予算との連携を強める

府省縦割りでなく、政策を主眼において府省横断的に予算を編成することで、政策の実効性・効率性を高める

より少ない財政負担で民間需要の誘発効果を高め、民間活力を最大限に引き出す
以上の効果が發揮されるよう、概算要求に向け、予算と制度改革・規制改革を一体的に組み合わせることによる効果を明らかにしつつ、各府省から政策群を提案していただきたい（別紙の政策群のイメージを参考に）。また、内閣府、財務省で協力してとりまとめ、諮詢会議に報告するとともに、予算編成過程では、それら政策群への重点化を図るべきである。

2. モデル事業の推進について

「モデル事業」は、「宣言、実行、評価」という新たな予算編成プロセスの第一歩であり、今後ともさらに範囲を拡大し、いずれは予算編成の基本形となるべきものである。現在、内閣府と関係府省で意見交換を進めているが、特に、予算執行の弾力化措置について、複数年度化や予算の科目間の使いやすさに対する提案など、積極的に要望やアイデアを出し、工夫を行うことが重要である。

3. 今後の進め方

これら新たな手法にかかる各府省からの提案については、経済財政諮詢会議で積極的に取り上げ、フォローアップを行うとともに、具体的な内容をより深めていく必要がある。その際、「宣言、実行、評価」のプロセスを強力に推進する観点から、国立大学法人、公共事業などの予算についても、併せて、議論すべきである。

「政策群」のイメージ

- 民間4議員で考えた「政策群」のイメージとして、例えば、次のようなものが挙げられる。

1 若年・長期失業者の就業拡大

政策目標：若年失業者の増加傾向の転換等
規制・制度：若年者のためのワンストップサービスセンター整備等
改革等：教育と雇用の連携（キャリア教育・インターンシップ等）
予算措置：若年者のためのワンストップサービスセンターを活用した事業の実施支援、長期失業者に対するコンサル・職業訓練・就業支援の民間委託等

2 科学技術駆動型の地域経済発展

政策目標：地域企業の研究開発力・技術力向上を通じて地域経済発展を実現
規制・制度：国立大学の施設の使用を認める「大学発ベンチャー」の範囲の拡大
改革等：地方公共団体から国立大学等に対する寄付金等の支出制限緩和措置の活用
予算措置：大学発ベンチャー創成支援、重点分野の産学官連携プロジェクトの強化

3 少子化の流れを変えるための次世代育成支援

政策目標：各人の理想どおりの数の子どもを生み育てることができる社会の実現
規制・制度：公設民営の推進、多様な保育サービスの推進、多様な働き方の実現
改革等
予算措置：保育サービスの充実、地域における子育て支援

4 緑豊かで安全・快適な都市生活及び住環境の実現

政策目標：緑豊かで美しい都市生活空間の形成と安全でゆとりある住環境の実現
規制・制度：景観に関する法制（例：屋外広告物）の整備・充実、都市部の住宅容積率緩和、バリアフリー化、都市再生緊急整備地域の活用
改革等
予算措置：電線類地中化、密集市街地の再生、都市の緑の一体的な整備・保全の推進、住宅の耐震化の促進

5 世界最先端の「低公害車」社会の構築

政策目標：低公害車の一層の普及及び燃料電池車の普及
規制・制度：燃料電池車導入に係る安全規制の改革
改革等
予算措置：公用車への低公害車化、燃料電池実用化支援等

6 外国人が快適に観光し、滞在できる環境の整備

政策目標：訪日外国人旅行者の倍増
規制・制度：ビザ取得・出入国手続きの円滑化、
改革等：景観に関する法制の整備・充実
予算措置：「日本ブランド」の海外への発信等のプロモーション、案内標識のガイドラインの作成、計画的設置